

# 私たちが未来を変える ～安心社会に向けて～

## ～ 連合山口 第26回定期大会を開催 ～

連合山口は10月26日(土)、山口市で170名の出席のもと第26回定期大会を開催しました。



▲ガンパロー三唱

大会の冒頭、挨拶に立った榎本会長代行は、政治活動のお礼や政策制度、男女平等参画、春季生活闘争の取り組みの重要性を述べたうえで、「連合山口はこの30年間、職場や社会の不条理に立ち向かい、すべての働く仲間のために運動を推進してきた。私たちを取り巻く環境は、課題が山積し、決して容易なものではないが『私たちが未来を変える』という決意をもって、新たな一歩を踏み出していこう」と訴え、連合に集う仲間の連携を強化し、運動を前進させていくことを大会構成員と誓い合いました。

その後、安永連合本部副事務局長、弘中副知事、村井山口労働局長をはじめ各界のご来賓から祝辞を受けました。

審議事項では、今後2年間の運動方針(案)、2020年度予算(案)を満場一致で確認し、伊藤会長(情報労連)、中元事務局長(電力総連)を中心とした新しい体制での活動をスタートさせました。

### <審議事項>

- 第1号議案 2020-2021年度運動方針(案)について
- 第2号議案 2020年度諸会計予算(案)について
- 第3号議案 役員を選出について
- 第4号議案 表彰について
- 第5号議案 顧問の委嘱について

### 新会長決意表明

全ての仲間のみなさんこんにちは。



新会長  
伊藤 正則

会長に就任するにあたり、連合山口が、みなさまにとって「身近で頼れる組織」になることをめざして、先頭に立ってがんばることを決意しています。

今、私たち「働く者」を取り巻く環境は、大変厳しいものと言わざるを得ません。しかしながら、「働く」事に関するあらゆる課題の解決、改善はナショナルセンターである連合の責務として取り組みを進めなければなりません。

そのためには、まず連合山口が大きな塊となり、集う全ての仲間が「明るい未来」を切り開くための共通認識を持つことが必要不可欠となります。連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会」を実現するために、「何をまもり」「何をつなぎ」「何を創り出していくのか」! みなさんとともに、答えを見つけ出して行きたいと思っています。

## 2020～2021年度運動方針

### ○今期2年間の具体的な運動方針

私たちを取り巻く情勢、連合本部方針、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向けた運動の基調を踏まえ、連合山口として今後2年間の具体的な運動方針を提起します。

なお、今期より運動資源（人的・財政的な資源）の有効活用、最適配分の観点から、7つの運動領域のうち、3つを重点分野、4つを推進分野として運動を再構築し、重点分野に今期より5年間の運動資源を集中させます。また、重点分野を実践していくうえで、その基盤となる「人財・財政・組織」について、「運動を支える基盤強化」として項目立てしています。

#### <重点分野>

- ① 「すべての働く仲間をまもり、つなぐための集団的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進」
- ② 「安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進」
- ③ 「男女平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場・社会の実現」

#### <推進分野>

- ① 「社会連帯を通じた平和・人権、社会貢献への取り組みと次世代への継承」
- ② 「健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進」
- ③ 「ディーセント・ワークの実現に向けた国際労働運動の推進」
- ④ 「連合と関係する組織との相乗効果を発揮し得る人材育成と労働教育の推進」

#### <運動分野を支える基盤強化>

「人財・財政・組織」に関する取り組み

## 地域協議会の活動見直し

### <これまでの「12の機能」>

(第1ステップ) 一律最低実施基準

- ① 政策提言機能、② 政治活動機能、③ 生活相談機能、④ 組織拡大機能、⑤ 交渉機能、⑥ 中小労組支援機能、⑦ 中小・地場企業支援機能

(第2ステップ) 第2段階基準

- ⑧ 専門家やNPO・ボランティア団体とのネットワーク機能、⑨ 共済機能、⑩ 退職者の拠り所機能、⑪ 働く人の街づくり機能、⑫ 就労支援機能

「12の機能」の義務化を白紙にする



### <新たな地域協議会活動>

#### ◆ 統一的に取り組む活動（コア）

##### ① 連合組織内の連携を強化するための活動

・ 地方構成組織、単組・支部の役職員とのコミュニケーションの充実に  
向けた活動

##### ② 地域で働くすべての仲間をささえるための活動

・ 幅広い未組織労働者含む、すべての働く仲間を支えるための活動



#### ◆ 各地域の特色を活かした活動

・ 連合組合員が地域活動に参加し、つながる機会を提供

**2020-2021年度 連合山口役員**

|                |               |                  |                  |
|----------------|---------------|------------------|------------------|
| 〈会 長〉          | 角 寿成 (情報労連)   | 花山 雄一 (JAM)      | 梅地 務 (政労連)       |
| 伊藤 正則 (情報労連)   | 〈事務局 長〉       | 山本屋嘉彦 (紙パ連合)     | 大塚 優太 (メディア労連)   |
| 〈副 会 長〉        | 中元 直樹 (電力総連)  | 青原亜希子 (自治労連)     | 田中 秀一 (全水道)      |
| 梶本 康仁 (自治労)    | 〈副事務局 長〉      | 永見 晋一 (交通労連)     | 向井 学 (労済労連)      |
| 富田 悟史 (自動車総連)  | 豊村 雄二 (自治労)   | 中村 充宏 (全国ガス)     | 岸 清隆 (全自交労連)     |
| 沖中 康 (JEC連合)   | 山根 浩二 (自動車総連) | 森本 弘一 (フード連合)    | 野村 正美 (林野労組)     |
| 山本 章宏 (UAゼンセン) | 藤田 英二 (基幹労連)  | 永井 政夫 (セラミックス連合) | 片岡 宏仁 (国交職組)     |
| 徳野 啓範 (基幹労連)   | 吉中 寛典 (JP労組)  | 桑原 央 (国税労組)      | 〈会計監査〉           |
| 吉村 孝二 (JP労組)   | 田中 英夫 (連合山口)  | 手嶋 謙介 (私鉄総連)     | 石丸 清 (JEC連合)     |
| 田村 慶一 (電力総連)   | 倉重 里加 (連合山口)  | 吉川 幸宏 (国公総連)     | 藤井 勇人 (運輸労連)     |
| 西田 忠生 (電機連合)   | 〈執行委員〉        | 石川 賢治 (JR総連)     | 河村 和宏 (セラミックス連合) |
| 新城 一朗 (JR連合)   | 森本 基臣 (全駐労)   | 有井 聡 (サービス連合)    | 岩戸 慎治 (全労金)      |
|                | 吉田 昌裕 (運輸労連)  | 井本 光彦 (全労金)      |                  |
|                | 中川 裕 (ゴム連合)   | 西山 英文 (日教組)      |                  |

## 大会宣言

連合山口は、結成30周年を迎えた。私たちは、本大会を意義ある節目と捉え、多くの働く仲間の確かな未来を拓くため、力強く新たなスタートを切っていく。

世界は今、貧困の連鎖と固定化、不安定な雇用と格差の拡大、脅かされる人権、そして、気候変動問題など、多くの困難な課題に直面している。また、多国間主義をないがしろにする現下の国際情勢は、先人が築き上げた平和と繁栄の礎となる国際秩序をも瓦解させかねない。まさに、民主主義の危機と言える。

さらに、わが国は、人口減少と少子高齢化、技術革新のただ中にある。私たちが、この変革期を乗り越えていくには、年齢や性別、国籍や障がいの有無にかかわらず、誰もがいきいきと暮らし、輝く、活力ある社会の創造を共通の価値観として、多くの共感を得ていく必要がある。

そのためにも、安心の社会保障、中小企業の基盤強化と地域の活性化、生活と仕事のバランスがとれた働き方など、社会、地域、そして、働き方を支える基盤を一刻も早く整えなければならない。

同時に、国民一人ひとりの声を真摯に受け止め、人々の様々な不安を払拭し得る政治が不可欠である。働く者・生活者が求める政策、そして、多様な民意を反映すべく健全で緊張感のある議会制民主主義の実現に向けた着実な歩みを強く求めていく。

連合は、2035年の社会を展望し、「持続可能性」と「包摂」を運動の基底に置いた連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会 -まもる・つなぐ・創り出す-」を策定した。その実現に向け、多様なステークホルダーと社会対話を積み重ねていく。

また、私たちは、結成以来培ってきた「力と政策」に磨きをかけるべく、本大会で確立した重点分野、推進分野、基盤強化からなる新たな運動方針を全員参加の下、全力で推進し、運動を再構築していく。

すべての働く仲間をまもり・つなぐための集団的労使関係の追求、政策の実現と労働条件の改善、真の多様性が根付く職場・社会の実現に向けて、大会スローガンである「私たちが未来を変える」との決意のもと、安心社会に向けて広がりのある運動をつくりあげていこう。

2019年10月26日  
連合山口第26回定期大会

**STOP! 長時間労働**  
あなたの働き方は大丈夫？

年次有給休暇を  
取らせて  
もらえない！

無視される「36協定」

ひとりでは悩んだり、我慢したりせず  
まずは 連合山口に  
相談してみませんか？

ひどりで悩まそう  
**即相談**

休日出勤が  
当たり前！

残業代が  
支払われない、  
サビ残の  
横行！

日常化する  
長時間労働

脱  
長時間労働  
働き方革命  
幸福招来

〒753-0078 非正規労働センター 山口市緑町3-29 労協協会館

**フリーダイヤル 0120-154-052** いこうよ れんごうに

**2019年12月12日(木)～13日(金) 10:00～19:00**

※上記期間以外も受付しています。  
※電話を掛けた都道府県の連合事務所につながります。

相談無料  
秘密厳守  
携帯・スマホOK

あなたの働き方は大丈夫？/  
**連合全国一斉集中  
労働相談ホットライン**

## 労働相談事案コーナー

### 【相談内容】

相談者：コンビニ アルバイト店員の母親  
大学生の子どもがコンビニでアルバイトをしている。契約は週3日で時間は16時～20時となっているらしいが、店長からよく電話がかかり出勤日の変更をお願いされたり、出勤してみると別シフトのアルバイトが遅れるとかで23時頃までの勤務延長を頼まれることもあるみたいだ。お店のことを考えると自分の都合を理由に断ることも出来にくく協力しているが親としては身体のことや学業がおろそかになりはしないかと心配。対応のアドバイスをいただきたい。

### 回答

有効求人倍率が1.5倍超という人手不足の状況なのでよく起きている問題だが、相談のケースでは店長の依頼に対してほとんど協力しているようなので逆に店長がそれに甘え過ぎている節がある。対応としては、基本である契約内容の勤務時間のことや自分の都合が付きにくいことなどを店長に対して自身の口からきちんと話すことを助言する。また、22時以降の勤務時間に25%の深夜割り増しなどが支払われていないようならそれも請求する事も伝えた。

なお、アルバイトという就業機会の中で職場の環境を理解し、協力するなど貴重な経験をしている子どもさんに対しては、親として心配もあるうが成長を期待して後方から見守ってあげることにしたらどうかと伝えた。

LINEで  
相談する



◀期間限定  
12月12日(木)・13日(金)  
10:00～15:00  
※LINEは連合本部に  
つながります。

電話で  
相談する



日本労働組合総連合会（連合）

### 連合山口カレンダー

- 【11月】  
9日 秋吉台山焼き延焼止め  
草刈りボランティア
- 【12月】  
12日～13日 全国一斉集中労働相談  
ホットライン



### 地協連絡先

#### ● 県央地域協議会

〒745-0045 周南市徳山港町1-1  
TEL: 0834 (21) 0768 FAX: 0834 (21) 0290

#### ● 東部地域協議会

〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内  
TEL: 0827 (22) 0160 FAX: 0827 (22) 0161

#### ● 西部地域協議会

〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内  
TEL: 083 (222) 0869 FAX: 083 (223) 9428

#### ● 中部地域協議会

〒753-0078 山口市緑町3-29 労協協会館3階  
TEL: 083 (902) 1811 FAX: 083 (932) 1131

[連合山口QRコード]



連合山口 検索

<http://rengo-y.com/>